

# 「役割語」研究の展望

The 13<sup>th</sup> EAJIS International Conference at Tallinn University, Estonia/ 24 August, 2011

金水 敏

大阪大学大学院文学研究科

## 【概要】

「役割語」とは、特定の人物像（キャラクタ）と結びついた話し方（語彙、語法、言い回し、音調、声質等）のことで、例えば日本語で「わしは知っておるんじゃ」という話し方は〈老人語〉、「私が存じておりますわ」であれば〈お嬢様語〉というような例を挙げることができる。金水（2003）『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』発刊以来、役割語について歴史的、社会的、ジェンダー論的、文学的、教育的等さまざまな観点から議論が深められてきた。その成果は現在までに、金水（編）（2007）『役割語研究の地平』、同（2011）『役割語研究の展開』という2冊の論文集にまとめられている。本講演では、役割語研究の達成について概説するとともに、特に日本語教育における役割語研究の貢献について考えを述べたい。

## 1. 役割語とは何か

- (1) a. おお、そうじゃ、わしが知っておるんじゃ。  
b. あら、そうよ、わたくしが知っておりますわ。  
c. うん、そうだよ、ぼくが知ってるよ。  
d. んだ、んだ、おら知ってるだ。  
e. そやそや、わしが知ってまっせー。  
f. うむ、さよう、せっしゃが存じておりまする。

1 <small>かんさいじん</small> 関西人	2 <small>ろうじん</small> 老人	3 男の子	4 <small>ぶし</small> 武士	5 <small>いなか</small> 田舎もの	6 <small>じょうきま</small> お嬢様
-----------------------------	--------------------------	-------	------------------------	---------------------------	----------------------------

- (2) ある特定の言葉遣い（語彙・語法・言い回し・イントネーション等）を聞くと特定の人物像（年齢、性別、職業、階層、時代、容姿・風貌、性格等）を思い浮かべることができるとき、あるいはある特定の人物像を提示されると、その人物がいかにも使用しそうな言葉遣いを思い浮かべることができるとき、その言葉遣いを「役割語」と呼ぶ。  
(金水 2003: 205 頁)

- 人物像（キャラクタ）と話し方（語彙、文法、音調等）との心理的連合（の社会的共有）。

## 2. ケーススタディ：老人語、性差

- 老人語：江戸時代後期、江戸の町における上方系言語の話者が上流町人、老人に偏っていたことを反映し、ポピュラーカルチャーを通じ、現代にまで受け継がれた。（金水 2003）
- 男ことば：江戸時代の江戸言葉と、明治時代の書生言葉が原型。（金水 2003; 2011b）
- 女ことば：主に、明治時代山の手の女学校で発生した女学生ことば（テヨダワ言葉）が元になっている。（金水 2003; 中村 2007）
- 現実から仮想現実へ。仮想現実における原型から拡張類型へ（金水 2008b）

## 3. さまざまな研究の展開

- 対照研究：韓国語（鄭 2007; 定延 2007）、英語（山口 2007）、ドイツ語（細川 2011）、中国語（定延・張 2007; 川崎 2010）、スペイン語（福嶋 2010）等
- 翻訳：ガウバッツ（2007）、金水（2011a）、鄭（2011）
- 役割語知識の習得：菅（2011）
- キャラクタ論：定延（2011）、金水（2011b）
- 言語接触とピジン由来の役割語：金水（2003; 2007; 2008a）、依田（2007; 2011）
- メディアと役割語：太田（2011）
- 日本語教育：恩塚（2011）、金水（2011c / 印刷中）

#### 4. 日本語教育における役割語の貢献

- 理解言語としての役割語
- 学習者のキャラクター形成の支援として

#### 参考文献

- 太田眞希恵 (2011) 「ウサイン・ボルトの ”I” は、なぜ「オレ」と訳されるのか—スポーツ放送の「役割語」—」 金水 (編著) (2011) pp. 93-125
- 恩塚千代 (2011) 「韓国の教科書における役割語の役割—「生きた日本語」を教えるバーチャルリアリティ—」 金水 (編著) (2011) pp. 51-90
- ガウバッツ、トーマス・マーチン (2007) 「小説における米語方言の日本語訳について」 金水 (編著) (2011) pp. 125-158
- 金田純平 (2011) 「要素に注目した役割語対照研究—「キャラ語尾」は通言語的なりうるか—」 金水 (編著) (2011) pp. 127-152
- 河崎みゆき (2010) 「漢語” 角色語言” 探訪—以中国方言電視劇為範本 (中国語の「役割語」を考える—中国方言ドラマを例に)」 『現代語文』 2010 年 10 月下旬刊, pp. 80-84、現代語文雑誌社. <http://www.modernchinese.org/lmu/lmu201010.htm>
- 金水 敏 (2003) 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』 岩波書店.
- 金水 敏 (2007) 「役割語としてのピジン日本語の歴史素描」 金水 (編著) (2007) pp.193-210
- 金水 敏 (2008a) 「マンガにおける異人ことば」 伊藤公雄 (編著) 『マンガの中の他者』 (ビジュアル文化シリーズ) pp. 14-60、臨川書店
- 金水 敏 (2008b) 「役割語と日本語史」 金水 敏・乾 善彦・渋谷勝己 (共編著) 『日本語史のインタフェース』 シリーズ日本語史、4、pp. 205-236、岩波書店
- 金水 敏 (2010a) 「現代日本語の役割語：ステレオタイプの話体の研究」 『言語学と日本語教育』 VI, pp. 1-7、くろしお出版.
- 金水 敏 (2010b) 「「男ことば」の歴史—「おれ」「ぼく」を中心に」 中村桃子 (編著) (2010) 『ジェンダーで学ぶ言語学』 pp. 35-49、世界思想社.
- 金水 敏 (2011a) 「翻訳における制約と創造性—役割語の観点から—」 杉藤美代子 (編) 『音声文法』 pp. 169-179、くろしお出版
- 金水 敏 (2011b) 「現代日本語の役割語と発話キャラクタ」 金水 (編著) (2011) pp. 7-16
- 金水 敏 (2011c / 印刷中) 「役割語と日本語教育」 『日本語教育』 150、日本語教育学会
- 金水 敏 (編著) (2007) 『役割語研究の地平』 くろしお出版.
- 金水 敏 (編著) (2011) 『『役割語研究の展開』 くろしお出版
- 定延利之 (2007) 「キャラ語尾が現れる環境」 金水 (編著) (2007) pp. 27-48
- 定延利之 (2011) 『日本語社会のぞきキャラくり』 三省堂
- 定延利之・張麗娜 (2007) 「日本語・中国語におけるキャラ語尾の観察」 彭飛 (編著) 『日中対照言語学研究論文集—中国語からみた日本語の特徴、日本語からみた中国語の特徴—』 和泉書院
- 菅さやか (2011) 「役割語獲得に関する心理学的基盤」 公開シンポジウム「役割語ゴ・発話キャラクタ研究の展開」 2011 年 2 月 6 日 於大阪大学大学教育実践センター講義管理棟 B218
- 鄭 惠先 (2007) 「日韓対照役割語研究—その可能性を探る—」 金水 (編著) (2007) pp. 71-93
- 鄭 惠先 (2011) 「役割語を主題とした日韓翻訳の実践—課題遂行型の翻訳活動を通しての気づきとスキル向上—」 金水敏 (編) (2011) pp. 71-90
- 中村桃子 (2007) 『「女ことば」はつくられる』 ひつじ書房
- 福嶋教隆 (2010) 「スペイン語の役割語」 土曜ことばの会、2010 年 7 月 17 日於大阪大学文法経済講義棟文 11
- 細川裕史 (2011) 「コミック翻訳を通じた役割語の創造—ドイツ語史研究の視点から—」 金水 (編著) (2011) pp. 153-170
- 山口治彦 (2007) 「役割語の個性性と普遍性」 金水 (編) (2007) pp. 9-25
- 依田恵美 (2007) 「「西洋らしさ」を担う役割語」 『語文』 79: 54-64
- 依田恵美 (2011) 「役割語としての片言日本語—西洋人キャラクタを中心に—」 金水 (編著) pp. 213-248